

～あなたの近くに献血バスが参ります～

◆ 日 時

平成22年1月5日(火)

14時 00分から

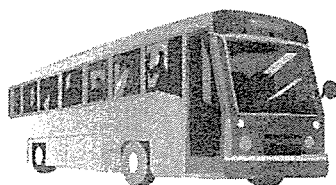
17時 00分まで

◆ 場 所

コラッセふくしま

みなさま 毎日お元気でお過ごしのことと思います。
上記の日程で、みなさまのお近くに献血バスが参ります。
事故や病気等で輸血を必要としている方のため、『集団献血』にご協力
くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

福島市長



献血に関するご相談、お問い合わせは…

◎ 福島市役所 健康推進課 Tel. 525-7670

◎ 福島県赤十字血液センター Tel. 544-2553

※なお、献血は福島県赤十字血液センターで金曜日を除く午前9時から午後4時30分まで
(200・400mL献血は午後5時まで)随時受け付けております。

400
mL
献
血
の
お
願
ひ

献血バスで実施している献血は、200mL献血と400mL献血の2種類があります。

1,200mLの輸血をする場合、200mL献血では6人分、400mL献血では3人分の血液が必要になります。

薬を服用したときと同じように、輸血をしたときにも、発熱・じんま疹などの副作用が起きる可能性があります。

多人数の献血者(200mL)からの輸血より、少人数の献血者(400mL)からの輸血の方が、副作用が起きる可能性は低くなります。

また、輸血による肝炎などの感染症の危険も減少します。

安全で安心な輸血用血液を確保するため、400mL献血へのご協力をよろしくお願ひいたします。

献血をしていただくと、次のような項目の検査ができます。
定期的に献血を行うことで健康状態の変化を知ることができ、病気などの早期発見につながる場合もしばしば。
献血を気軽なヘルスチェックとして是非ご活用ください。

- ABO式血液型・Rh式血液型
- 肝臓に異常がないかどうか
- 動脈硬化の原因となるコレステロール
(値の動向に要注意)

- 栄養状態に問題はないかどうか
- 貧血の有無やその原因を判断するてがかり
がわかる
- 女性に多い、鉄分欠乏症も見つけることができる

健康
チエック
が
でき
ます

献血にご協力いただけませんか？

マイナス 3,745人 これが何の人数か、お分かりでしょうか。

近年、献血協力者が大幅に減少しています。減少の原因は様々ですが、主なものとして、感染症拡大防止のための献血者受け入れ制限と、献血の必要性についての意識の低下が考えられます。

上記の人数は、福島市における平成10年度と平成20年度の献血協力者数(延べ)を比較したものです。

この10年間で、4,000人弱の減少となっています。

(平成10年度 12,048人 平成20年度 8,303人)

献血すると、気持ち悪くなったり倒れたりするって聞くから、やりたくないな

時間がかかるから面倒

針が太くて痛そうだし…体から血を抜くのは怖い

そもそも献血って必要なの？

自分がやらなくても誰かがやるから大丈夫でしょ？

献血に対して消極的な方は、このようにマイナスのイメージを強くお持ちのようです。確かに、針を刺す瞬間は痛みを感じることもありますし、採血後にご気分が悪くなってしまわれる方もいらっしゃいます。問診の時間を含めると30分以上かかる場合もあり、「すぐに終わります」とは言えません。

ですが、血液は人工的に造ることができません。輸血用の血液は、献血によって採取された血液しか使用できないのです。

もし、あなたや、あなたの大切な人に輸血が必要になったとき、

輸血用の血液が足りないのでは助かりません

と言われたらどうしますか？

このまま献血協力者の減少が進めば、輸血用血液が足りず、命を落とす方がでてしまうかもしれません。

あなたの善意で、救える命が確かにあります。

どうか、献血にご協力いただけませんか？